

2017年版 変更規則

	変更規則 I (東京都選手権大会 夏季大会)	変更規則 II	東京都中学校春季・新人大会 変更規則 II からの変更点
短い演技	6技以上 Eスコアーは10.0から採点 5技 6.0から採点 4技 5.0から採点 3技 4.0から採点 2技 3.0から採点 1技 2.0から採点 技がない Eスコアーは0.0とする	6技以上 Eスコアーは10.0から採点 5技 6.0から採点 4技 5.0から採点 3技 4.0から採点 2技 3.0から採点 1技 2.0から採点 技がない Eスコアーは0.0とする	6技以上 Eスコアーは10.0から採点 5技 6.0から採点 4技 5.0から採点 3技 4.0から採点 2技 3.0から採点 1技 2.0から採点 技がない Eスコアーは0.0とする
一般減点	(追加: 第8章 一般減点と減点表に追加) 前向きでない構成(段違い、平均台、ゆか) -0.1/0.3/0.5	(追加: 第8章 一般減点と減点表に追加) 前向きでない構成(段違い、平均台、ゆか) -0.1/0.3/0.5	(追加: 第8章 一般減点と減点表に追加) 前向きでない構成(段違い、平均台、ゆか) -0.1/0.3/0.5
難度点(DV)	2017年版採点規則通り	2017年版採点規則通り	2017年版採点規則通り
跳馬	2回の跳躍で、良い方が有効点となる 助走のやり直しについて、跳躍板や跳馬にふれてなければ、3回の助走が許される(減点なし) 種目特有な減点(追加項目) 支持局面 ・支持が長い -0.1/0.3/0.5 第2空中局面 ・ダイナミックさに欠ける -0.1/0.3/0.5	2回の跳躍で、良い方が有効点となる 助走のやり直しについて、跳躍板や跳馬にふれてなければ、3回の助走が許される(減点なし) 種目特有な減点(追加項目) 支持局面 ・支持が長い -0.1/0.3/0.5 第2空中局面 ・ダイナミックさに欠ける -0.1/0.3/0.5	2回の跳躍で、良い方が有効点となる 助走のやり直しについて、跳躍板や跳馬にふれてなければ、3回の助走が許される(減点なし) 種目特有な減点(追加項目) 支持局面 ・支持が長い -0.1/0.3/0.5 第2空中局面 ・ダイナミックさに欠ける -0.1/0.3/0.5 台上前転(倒立前転も含む) D(1.00) E(5.00から採点)
終末技(段違・平均台・ゆか)	終末技(段違・平均台・ゆか)は、以下の加点がDスコアー加算される Bの終末技 +0.3 C以上の終末技 +0.5 終末技がない場合は、最終スコアから-0.5減点を行う(D審判)	終末技(段違・平均台・ゆか)は、以下の加点がDスコアー加算される A以上の終末技 +0.5 終末技がない場合は、最終スコアから-0.5減点を行う(D審判)	終末技(段違・平均台・ゆか)は、以下の加点がDスコアー加算される A以上の終末技 +0.5 終末技がない場合は、最終スコアから-0.5減点を行う(D審判)
構成要求(CR)2.00(各0.5)	段違い平行棒 1) 高棒から低棒へ移動する空中局面を伴う技 2) 空中局面を伴う技(構成要求1)とは兼ねられない、終末技を除く) 3) 異なる握り(後ろ振り上げ、開始技と終末技を除く) 4) 360度以上のひねりを伴う空中局面を伴わない技(開始技を除く) 平均台 1) 180度開脚(前後/左右)または、左右開脚屈身のリープ、ジャンプを1つは含む、少なくとも2つの異なるダンス系の技からなる組み合わせ 2) ターン(グループ3) 3) 1つの空中局面を伴う技を含む、少なくとも2つの技からなるアクロバット系シリーズの(同一技でもよい) 4) 方向の異なる(前方/側方と後方)アクロバット系の技 ゆか 1) 180度開脚(前後/左右)または、左右開脚屈身の跳躍技を1含む2つの異なるリープまたはホップ(難度表にある)の直接または間接(ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入った)組み合わせでの移動 2) ひねり(1回ひねり以上)を伴う宙返り 3) 2回宙返りまたは、2つの異なる宙返りを含む1つのアクロライン 4) 後方宙返りと前方宙返り(片足踏み切りの宙返りは除く) 注: 構成要求の2),3),4)はアクロラインの中で実施しなければならない	段違い平行棒 1) 低棒と高棒で少なくとも1つ以上の技を実施(開始技と終末技を除く) 2) 空中局面を伴う技(終末技を除く) 3) 棒に近い回転系の技(空中局面を伴わない) 4) 倒立に到達する技 <構成減点>「低棒から高棒へジャンプして移動する -0.50」 減点項目削除 平均台 1) 180度開脚(前後/左右)または、左右開脚屈身のリープ、ジャンプを1つは含む、少なくとも2つの異なるダンス系の技からなる組み合わせ 2) ターン(グループ3) 3) 1つの空中局面を伴う技を含む、少なくとも2つの技からなるアクロバット系シリーズの(同一技でもよい) 4) 方向の異なる(前方/側方と後方)アクロバット系の技 ゆか 1) 180度開脚(前後/左右)または、左右開脚屈身の跳躍技を1含む2つの異なるリープまたはホップ(難度表にある)の直接または間接(ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入った)組み合わせでの移動 2) ひねり(1回ひねり以上)を伴う宙返り 3) 前方の宙返りを含むアクロライン(片足踏み切りの宙返りは除く) 4) 後方宙返りを含むアクロライン 注: 構成要求の2),3),4)はアクロラインの中で実施しなければならない	段違い平行棒 実施しない 平均台 1) 180度開脚(前後/左右)または、左右開脚屈身のリープ、ジャンプを1つは含む、少なくとも2つの異なるダンス系の技からなる組み合わせ 2) ターン(グループ3) 3) 前方/側方のアクロバット系の技 4) 後方のアクロバット系の技 ゆか 1) 180度開脚(前後/左右)または、左右開脚屈身の跳躍技を1含む2つの異なるリープまたはホップ(難度表にある)の直接または間接(ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入った)組み合わせでの移動 2) 前方/側方の宙返り(片足踏み切りの宙返りは除く) 3) 後方の宙返り 4) 1つの宙返りを含むアクロライン 注: 構成要求の4)は、2)または3)を兼ねることができる 注: 構成要求の2) 3)は、アクロラインで実施しなくても満たされる 注: アクロラインは1つの宙返りを含む少なくとも2つの空中局面を伴う技の直接の組み合わせからなる
A難度として認められる要素	平均台 伸身とび かかえ込みとび 前転 後転 ゆか 前方倒立回転 側方倒立回転 後方倒立回転 上記の要素は1技と数えられるが、構成要求には使用できない	平均台 伸身とび かかえ込みとび 前転 後転 ゆか 前方倒立回転 側方倒立回転 後方倒立回転 上記の要素は1技と数えられるが、構成要求には使用できない	平均台 伸身とび かかえ込みとび 前転 後転 ゆか 前方倒立回転 側方倒立回転 後方倒立回転 後転倒立 上記の要素は1技と数えられるが、構成要求には使用できない

<補足説明>

第7章 Dスコアに関する規則

平均台、ゆかの演技の内容について

終末技を含む最大8つの高い順からの技が難度点として数える

数えられる8つの技は、3つのダンス系の技

3つのアクロバット系(終末技を含む)の技

残りの2つの技は任意

終末技がない場合は、最終スコアから-0.5の減点となる(D審判の減点)

第8章 一般減点と減点表

-正確さ 各0.1の減点が、-正確さ(アクロバット系の技とダンス系の技) 各0.1の減点に変更

-前向きでない構成(段違い、平均台、ゆか) -0.1/0.3/0.5 (変更規則に追加の減点)

第9章 技術の指針

伸身宙返りの姿勢の承認について

伸身宙返りの姿勢は、宙返りの回転の半分以上(過半数を超える)伸身姿勢を保たなくてはならない

伸身姿勢が半分までであれば屈身姿勢になり、屈身姿勢の減点(0.1/0.3)が伴う

ひねりを伴うジャンプ、リープ、ホップの難度の承認は、30度よりひねりが不足した場合は、異なる技と判断される

ひねりは、肩と腰の位置で決定される

羊とびの承認要求

・上体はアーチ姿勢、頭部は後屈で両足は頭頂部へ

・腰を伸ばす

脚交差した前後開脚とびの承認要求

・振り上げ脚は少なくとも45度

・振り上げ脚は伸ばす

※振り上げ脚が曲がっていても難度として認める(実施減点が伴う)

振り上げ脚が10度でも難度として認める(実施減点が伴う)

第10章 跳馬

種目特有な実施減点

支持局面

・規定されたひねりの時期が早すぎる(台上) - 0.1/0.3減点が追加

・支持が長い -0.1/0.3/0.5 (変更規則に追加の減点)

第2空中局面

-ダイナミックさに欠ける -0.1/0.3/0.5 (変更規則に追加の減点)

第11章 段違い平行棒

審判にあいさつ後、低棒の下をくぐり抜けて開始技を実施した場合、0.30の減点(審判長の減点)となる

第12章 平均台

難度表にない開始技は、またいで座ったり、しゃがみ立ちで上がるものを除いて一般的にA難度として認められる

種目特有な実施減点

-調整(振り付けになっていない不必要な踏み出しや動き)は 各-0.1の減点となる

-平均を保つための余分な動き -0.1/.0.3/0.5の減点

わずかにバランスを崩す -0.1

その場で何回か、わずかにバランスを崩す/脚が45度くらい上がる/頭が腰の位置 -0.3

大きくバランスを崩す/脚が45度以上(腰まで)上がった場合 -0.5

第13章 ゆか

アクロラインは1つの宙返りを含む少なくとも2つの空中局面を伴う技の直接の組み合わせからなる

※助走からの単発の前方宙返りは、アクロラインにはならない

最後のアクロラインの後に、アクロバット系要素を実施しても難度は読まない

アクロラインが、1本しかない場合は終末技なしと判断される(最終得点から-0.5の減点)

解説:終末技がない場合、アクロバット系の技は演技の中で実施された技(承認される技)の数より1つ少ない数しか数えることができない。難度点の数え方として、終末技がなくても数えられるアクロバット系の技が4つあれば3つは必ず数える。

単発の宙返りだけで、アクロラインがない場合は、アクロバット系の技は難度点として数えられない。

短い演技の減点はない。(難度点DVとして数えることができないが、技術的な要素が満たされた異なる技が7つ以上ある場合は短い演技に該当しない)

特別要求

- 180度開脚(前後または左右)、左右開脚屈身の跳躍技を1含む2つの異なるリープまたはホップ(難度表にある)の直接または間接(ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入った)組み合わせでの移動

※ 組み合わせの間に、片足上でのピルエットの姿勢が見られた場合は、組み合わせにならないので、特別要求を満たすことが出来ない

※ 最初のダンス系の技は片足で着地しなければならない

技の難度変更(抜粋)

跳馬

前転とび	2.40→2.00
前転とび1/2ひねり	2.80→2.40
ヤマシタとび	2.60→2.40
前とび1/2ひねり	2.40→2.00
前とび前方かかえ込み宙返り	4.40→4.00
かかえ込みツカハラとび	4.00→3.50
屈身ツカハラとび	4.20→3.70

平均台

片足踏み切り前後開脚とび(振り上げ脚が曲がらない)	A→B
両足踏み切り前後開脚とび	A→B
両足踏み切り前後開脚とび1/2ひねり	B→C
両足踏み切り左右開脚とび	A→B
両足踏み切り左右開脚とび1/2ひねり	B→C
ねことび	A
ねことび1/2ひねり	A→B
ねことび1回ひねり	B→C
伸身とび1回ひねり	B→C

ゆか

ねことび	A
ねことび1回ひねり	A→B
両足踏み切りかかえ込みジャンプ	A→B
脚交差した前後開脚とび1/2ひねりとジョンソンから1/2ひねり、C難度であるが同一技である	